

岐阜市の  
人と動物の共生を考えるタウンミーティング

【実施報告】

及び

【私たちの提言】

平成 27 年 3 月 24 日

NPO法人人と動物の共生センター

理事長 奥田順之

岐阜市琴塚 2-17-9

TEL:058-337-5234 FAX:058-214-3442

[info@tomo-iki.jp](mailto:info@tomo-iki.jp)

## 【目次】

### 第1章 実施報告

企画概要	2
実施体制	2
実施内容	
第1回 保護と野良猫編	3
第2回 子どもと教育編	7
第3回 企業とCSR編	9
第4回 まとめと提言編	13

### 第2章 私たちの提言

はじめに	16
提言1 円卓会議の設置	17
提言2 ボランティア研修制度	18
提言3 畜犬管理センターの動物福祉状態の向上	19
提言4 ペット同行避難訓練	20
提言5 マイペットタウン協力企業の募集	21

### 資料編

タウンミーティング使用スライド	
タウンミーティングの主旨と現状認識	
進行資料	
第1回 保護と野良猫編	
第2回 子どもと教育編	
第3回 企業とCSR編	
第4回 まとめと提言編	
岐阜市の動物愛護（片桐氏提供）	
タウンミーティングリーフレット	
第1回 保護と野良猫編	
第2回 子どもと教育編	
第3回 企業とCSR編	
第4回 まとめと提言編	
各回共通裏面	

## ■ 第1章－実施報告－

---

### 【企画概要】

岐阜市の人と動物の共生を考えるタウンミーティングは、様々な分野から人と動物の共生、そして身近な異種の生命との関わりについて、これまでの事例を学ぶとともに、これからの岐阜市の人と動物の共生の未来について考える会として実施いたしました。

人と動物がより良い共生ができる街に、そして、身近ないのちを尊重できる街を目指すならば、一部の市民、ボランティア、行政だけが頑張ればいい、と言うわけではないでしょう。企業、NPO、ボランティア団体、地域組織、教育機関、地方自治体など、様々な主体が連携し合うことで、実効性のある取り組みを推進していけると考え、タウンミーティングと言う場を設けました。

本タウンミーティングでは、4回の開催を通じて、各ステークホルダーと共に議論を深めることができました。また、本報告書を以て、各主体への提言を行っていくことができました。

### 【実施体制】

主催：NPO法人人と動物の共生センター

後援：岐阜市

岐阜市教育委員会

協力：犬猫保護ボランティア Happy Choice ～犬と猫と人のために～

自走型保護猫カフェ Neco Republic

一般社団法人 Do It Yourself

トリミングサロン ワンズライフ

NPO法人 MeetsVision

一宮 AAE ドッグスクラブ

岐阜善光寺

一般社団法人 ペットパーク流通協会

一般社団法人 SR 連携プラットフォーム

サンメッセ株式会社

千村どうぶつ病院

タウンミーティングに際して、パネラーとしてご登壇いただいた皆様はじめ、多くの皆様にご協力いただきました。誠にありがとうございました。

## 【実施内容】

### ● 保護と野良猫編（1回目）

日時：10月18日（土） 13:00～15:00

場所：ハートフルスクエアG

参加者：30名

### ◎ ミーティング内容

殺処分、飼育放棄、野良猫…人と動物の共生の課題として、これまでに多くのボランティア、行政職員が保護そして野良猫の問題に挑んできました。そうした活動の広がりから、犬においては殺処分ゼロの自治体が見られるようになってきており、岐阜市においても保護の転換点を迎えようとしています。そして、野良猫と地域が今後どうかかわっていくのか、動物に関わる公共はどのように担われていくべきなのか、公助・共助・自助の観点から考えました。

### ◎ 当日の様子と新聞記事での紹介

**野良猫問題、市民ら議論**

岐阜市でタウンミーティング

NPO法人「人と動物を交わした。物の共生センター」(事務局岐阜市琴塚)主催の「岐阜市の人と動物の共生を考えるタウンミーティング」が18日、同市橋本町のハートフルスクエアGで開かれ、参加者が野良猫などに関する問題に意見を述べた。

「野良猫をなくすにはどうすれば」。住民や行政ができることを探り、議論するパネリストら＝岐阜市橋本町、ハートフルスクエアG

この日が初回で、県内外から約30人が参加。奥田順之理事長がコーディネーターを務め、パネリストが意見交換。同市正木の猫カフェなどを運営するネコリパブリックの河瀬麻花代表は「行政が『野良猫をゼロに』と目標で示すと、活動しやすい」と述べた。

地域の課題解決をサポートする一般社団法人「Do It Yourself」(事務局同市長良雄総)の東善朗代表理事は「問題は猫ではなく、地域にある。住民同士がコミュニケーションを図り、猫の居場所や接し方を考えることが必要」と訴えた。

(井上愛)



◎ パネラー

- ・ 岐阜市保健所 健康福祉部生活衛生課 片桐重幸氏
- ・ Happy Choice ～犬と猫と人のために～ 田口尚也氏
- ・ 自走型保護猫カフェ NECO REPUBLIC 河瀬麻花氏
- ・ ボランティアコーディネーター 後藤理香子氏
- ・ 一般社団法人 DO IT YOURSELF 東善朗氏

◎ 当日の主なダイアログ

<岐阜市の取り組みについて（片桐氏より）>

- ・ 岐阜市の殺処分については、平成 12～13 年を境に大きく減少している。その理由は、この時期にボランティアとの連携を始めた。
- ・ 平成 25 年はボランティアの皆さんの支援もあり、犬は 8 頭だった。
- ・ 猫については、譲渡率が 50%を超えた年（平成 15 年）もあった。当初は乳飲み子等助けられないかもしれない子も譲渡していた。しかし、ボランティアさんの元で死んでしまうことも多かった。収容頭数も多いことから選別せざるを得ない部分もあり、その後は譲渡率は低下している（20%前後）。
- ・ 避妊去勢や室内飼育が当たり前になってきたことで、収容数は下がってきているが、収容される猫の状態は相対的に悪い状態の個体が多くなっている。
- ・ 苦情相談は依然多く、現地調査は毎年 100 件程度ある。犬では鳴き声、放し飼い、糞尿、猫では野良猫、糞尿、放し飼いが問題とされている。
- ・ 岐阜市の取り組みとしては、愛犬のしつけ方教室、犬猫の一時預かり委託事業、飼い主不明の猫の不妊去勢手術補助金事業、啓発看板の配布、猫の侵入防止装置の貸出、犬の飼育実態戸別調査などを実施している。

<野良猫について（片桐氏・河瀬氏・東氏）>

- ・ （奥田）猫の糞尿の問題は、いわゆる『野良猫』の問題？
- ・ （片桐氏）野良猫もいるが、中には餌をやっている自分の猫という人もいる。野良猫に餌を与えていると思っている人もいる。
- ・ （奥田）純粋な（人から餌をもらっていない）野良猫は存在する？
- ・ （片桐氏）人から餌をもらわなくても、野鳥を採るなどして多少は存在できるかもしれない。しかし、その程度の数であれば問題視されることは少ないかもしれない。
- ・ （奥田）問題となる地域には特徴はある？
- ・ （河瀬氏）無責任に餌をやる人がいると問題になるのでは？責任を持って避

- 妊去勢などをして猫の世話をしている人も、非難されてしまうことがある。
- ・（片桐氏）避妊去勢していても、猫の姿があるだけで嫌だという人もいる。相互理解が一番必要ではないか。
  - ・（河瀬氏）相互理解の前提として、「市としては飼い主のいない猫（外飼い猫）をゼロにしていきます、その段階で地域猫活動が必要なんです」と言うのを打ち出してもらいたい。そうすれば、猫を嫌いな人も納得感があるのでは？地域猫活動をやっている方々はもっと感謝されるべきだと思う。
  - ・（東氏）地域猫活動は、地域内で周知されていなければ、野良猫に餌をやっている様にしか見えない。外飼い猫をゼロにするとか、野良猫の管理をどうするかなどは、行政に投げるには難しい。コミュニティのしっかりした地域なら合意形成が可能かもしれないが、行政がやるべきテーマではないと思う。自分たちで担うテーマだという風にしないと。
  - ・（河瀬氏）地域には猫を助きたい人もいれば、猫が嫌いな人もいる。当事者同士ではぶつかってしまうので、何かしら介入が必要なのではないか。
  - ・（東氏）そういう意味では奥田さんのような立ち位置の方が適役かも。
  - ・（奥田）問題の当事者という話ですが、猫問題の当事者を自助：共助：公助のどこが大切か、割合で示すとどのようになると考えるか？
  - ・（東氏）7：2：1。これは防災と一緒に。色々な社会的な課題は近いかなと。
  - ・（河瀬氏）6：2：2。問題だと思っている人自身で解決しようとしないと解決できない。行政の取り組みも知らない人がいるから知らせることも大切。
  - ・（奥田）自助の部分って、具体的には？例えば猫を拾ったら？
  - ・（河瀬氏）拾ったら、拾った責任として、育てることを考えてほしい。誰かにどうにかしてほしいというのは良くない。とはいえ、サポートは必要。育て方や、新しい飼い主の探し方、委託すればどれくらい費用がかかるかなど。
  - ・（片桐氏）実際市民の皆さんがどのように考えているかいつも気にしているところではあるけれど、お二人の意見で自助が大きいということをお聴いたのは、ちょっと安心と言う思いはある。けれど、実際は、「保健所がどうにかしてくれないのか」という意見は少なくない。
  - ・（奥田）割合と言う意味では、片桐さんにお伺いするのは不適切だったかと思いますが、河瀬さんも、東さんも、自分でどうにかしようというのがやはり大きいと言うのが印象的でした。

#### <岐阜市の犬猫の保護活動について>

- ・（奥田）岐阜市では、2014年10月5日で1年間の犬の殺処分ゼロを達成されたとのことですが、その要因は？
- ・（片桐氏）避妊去勢の徹底や放し飼いが無くなったことで子犬の収容が無く

なりトータルの頭数が減ったことで、1頭当たり長く収容できるようになった。そして譲渡が増えたこと。とても行政だけではなしえないこと。ボランティアの力があってこそ。感謝しています。

- ・ (田口氏) 自分たちが活動する前にボランティアされていた皆さんの活動がまず大きいこと。収容された犬の中で病気の子や高齢の子など飼い主が見つかりにくい子たちがいる。そういう子をどうしていくかが問題。自分たちはそこを頑張ることでゼロを目指そうと思った。岐阜市と言う地域で行政と組んでやっていくことに意味があるし、『殺さない』と言うことを決めたことが大きいと思う。
- ・ (奥田) 高齢や病気の子って実際は飼い主さん見つかりますか？
- ・ (田口氏) 高齢や病気の子だからと言ってもらわれる方もあります。
- ・ (奥田) ボランティアの力が大きいという話ですが、岐阜市ではどれくらいのボランティア(一時預かり・ボランティア譲渡)がいますか？
- ・ (片桐氏) 10人はいかないかなと。
- ・ (奥田) それは足りてますか？もっといたほうがいい？
- ・ (片桐氏) 犬についてはゼロだけれど、猫は多く処分されている。ボランティアさんの数が足りているということにはなかなかならない。
- ・ (田口氏) 岐阜市の犬でも保健所に入る場合だけでなく、一般の方が飼えなくなったのを他県他市の方がレスキューに入ることもある。数字に出てこない部分もあるし、その部分の方が大きいのもかもしれない。そういう意味でボランティアはまだ必要。
- ・ (後藤氏) ボランティア参加のプロセスがもう少し手軽になればと思う。また、ボランティアをやって苦しむのではなく、楽しむことが必要だと思う。欧米などではボランティア参加においては研修が当たり前に実施されているが、研修で学ぶことも自分のためになる。そうした楽しさや学びがあるとより多くの方に参加いただけるのではないか。動物に関わることだけがボランティアではないので、人に関わる部分、広報やデザインなどもボランティアになりうる。
- ・ (片桐氏) 後藤さんから紹介いただいたアメリカでの研修はすごく長かった。しかも有料でお金を払ってボランティアをやってくれる人がいるのはとてもありがたいことだと思う。
- ・ (奥田) 参加する人の数を増やすことと、参加する人の研修をどうしていくかが今後の課題なのかなと感じました。

● 子どもと教育編（2回目）

日時：12月14日（土） 13:30～16:00

場所：岐阜市中央青少年会館

参加者：25名

◎ ミーティング内容

動物を介して、いのちとのつながりを感じ、身近ないのちを実感する。小中学校でのいじめや不登校が問題視され、子どもたちの生命尊重の心や自尊感情が乏しいと指摘される昨今。子どもたちの豊かな人間性は、「学校」だけではなく、「家庭」や「地域社会」を通じ育まれるべきとされています。その中で、動物と動物に関わる人々が持つ、いのちの教育への可能性はまだ未開拓の分野と言えます。動物を介したいのちを実感する教育の未来について考えました。

◎ 当日の様子





◎ パネラー

- ・ 元岐阜市教育長 安藤征治 氏
- ・ 一宮AAEドッグスクラブ 檜垣史 氏
- ・ 岐阜善光寺 松枝秀晃 氏
- ・ NPO法人 Meets Vision 松岡慎也 氏
- ・ 桜丘中学校 教諭 横山真智子 氏

◎ 当日の主なダイアローグ

<命の教育について>

- ・ 命の教育とは“命そのもの”とはなんなのかということがある。子どもたちには生きるとは人間を知ることであるから、人間の素晴らしさを理解させる教育が必要と考えている。“動物の理解”とはどのようなものなのか？
- ・ “動物の理解”とは、例えば生理学的・行動学的な理解をしてあげることによって“動物への配慮”につながるのではないか。また、動物と人間の共通性を知ることによって、命について知ることができるのではないか。習性を知ることによって分かり合える。
- ・ 命の教育と言っても裾野が広い。そのうちの一つに動物を介した教育・動物への理解もあると言える

<命の教育は誰がどこでどのように推進していくべきか>

- ・ それぞれの場でそれぞれの立場で推進すべき。全ての教育問題の解決を学校に求めるのは間違いだと思う。学校にこだわる必要はない。選択肢が増えていく時代。いろいろな場所でいろいろな人がやることで選択肢が増えれば。
- ・ 学校教育の場でできないものを外でまずやってみるというのが必要。外で実績を積んで、学校に持っていくのはありなのでは。
- ・ 学校でできること、家庭でできること、地域でできることはそれぞれ違う。カリキュラム上、すべてを学校でやるわけにはいかない。学校では動物に関わる人々について学ぶことで、動物についての理解を促すこともできる。職業教育もその一つ。動物を飼う主体はあくまで家庭。家庭で適切な飼い方ができる様にならなければならない。地域では、地域のルールをしっかりと確立すること。公園ではどうしたらいいのかなど。

<どのように広めていくべきか>

- ・ 先生の研修でこのようなことを知らせていくことに意味がある。
- ・ こういう活動をしている人が先生と触れ合う場があればと思う。

● 企業とCSR編（3回目）

日時：2月11日（水） 13:30～16:00

場所：ハートフルスクエアG

参加者：40名

◎ ミーティング内容

CSR＝企業の社会的責任とは、企業活動の中で生じる様々な社会的な影響に責任を持ち、あらゆるステークホルダー（利害関係者）からの要求に対して適切な意思決定をすることを指します。動物関連企業にとっての動物というステークホルダー。動物の生命に対する責任をどのように負っていくかについて、社会の中での動物と飼い主の暮らしに対する責任をどのように負っていくかについて、様々な先進的な取り組みから、これからの動物とCSRについて考えました。

◎ 当日の様子



◎ パネラー

- ・ 一般社団法人ペットパーク流通協会 専務理事 大川順士 氏
- ・ サンメッセ株式会社 CSR／IR推進室長 田中信康 氏
- ・ 千村どうぶつ病院 院長 千村収一 氏
- ・ 一般社団法人SR連携プラットフォーム 専務理事 森健輔 氏

◎ 当日の主なダイアログ

<CSRについて（森氏・田中氏よりレクチャー）>

- ・ （森氏）CSRとは、事業活動一つ一つのプロセスの中に環境や人権などの社会への配慮関係者への配慮を組み込むことである。
- ・ （森氏）製造業で言えば、どのような仕入先から仕入れをするか、製造段階で人権侵害がないか、廃棄物など環境負荷に対する責任を負っているかなどを適切に管理しなければならない
- ・ （森氏）社会貢献しているというだけでは認められない社会になってきた。
- ・ （田中氏）良い会社か悪い会社かは財務の状況だけでは判断できなくなってきた。CSRへの取り組みは、企業の将来価値を図る指標になっている。
- ・ （田中氏）ベネッセコーポレーションが手掛ける、**design with pet project** など動物においても様々な取り組みが出てくると思われる。

<ペット産業の実際について>

- ・ （大川氏）ペットパーク協会は全国14カ所のオークションが加入して活動を行っている。ペットパーク協会は自分たちの事は自分たちで何とかしないといけないということでやっている。私たちは殺処分ゼロを目指している。
- ・ （大川氏）各オークションでは週100～600頭の子犬子猫が動いている。オークションでは、45日齢規制はもちろん十分に行っている。45日齢以下の犬猫は絶対に入れない。法令はきちんと遵守している。
- ・ （大川氏）ペットパーク協会では殺処分ゼロに向けて、ブリーダーさんの引退犬を適正譲渡するためのシェルター絆の運営も行っている。
- ・ （会場から）一般のブリーダーから愛護団体へ不要になった犬猫が出ていることは知っているのか？
- ・ （大川氏）オークションに関わっているブリーダーについては指導できるが、そうでないブリーダーには関わっていくことはできない。しかし、オークションに出入りのない業者でも連絡が入れば対応している。名古屋市動物愛護センターからも依頼が来てレスキューしている。
- ・ （会場から）愛護団体からブリーダーの指摘をしてしまうと、ブリーダーか

ら不要犬猫を出してもらえなくなるかもしれず、それを危惧している。そうすると救える命も救えない。

- ・（大川氏）某大手業者さんは、東日本大震災の際に自社でシェルターを作ったことがある。しかし、愛護団体さんから非難を受けて、愛護団体にシェルターを譲ったという例がある。
- ・（奥田）愛護団体さんと業者さんが互いに不信感になってしまっているからこそ、情報公開がもっと必要。NPOやボランティアはチェック機能として働くという意味もあるのでは。
- ・（大川氏）ブリーダーの不正については、行政に言うよりも私たちに言ってほしい。むしろ、行政よりも私たちの方が「食っていくためにはこうしないとダメですよ」と言うことできつく言える。

#### <先天性疾患の現状について>

- ・ 現在、400 頭いたら 1~2 頭くらいはねられることがある。パークとしても研修などを行っており、かなり減ってきている。
- ・（千村氏）自分は心臓病の専門で、先天性疾患の子のうち治せるものは治して里親に出す活動に協力している。しかし、治せない子もいるので、どうしたらいいか今後考えていかなければならない。
- ・（千村氏）心臓病で買い手がつかない場合、ブリーダーさんに戻って繁殖に使う場合も考えられるので・・・
- ・（大川氏）もちろん繁殖に使わないように指導はするが、指導までしかできない。実際にやっているかどうかは管理できない。しかし、私たちとしては先天性疾患はゼロにしたい。
- ・（奥田）先天性疾患を持った子がどのようになっていくかは把握できていない？
- ・（大川氏）現在できていない。
- ・（千村氏）交配を考えることで、先天性疾患を減らすことはできるがゼロは生物学上不可能。
- ・（奥田）減らすのは大切だけど、必ず出てくる先天性疾患をどうするのか？
- ・（大川氏）まずは遺伝的な淘汰が最優先。現在もオークションを通じてやっている。その中でも先天性疾患で生まれてくる子は、連携している愛護団体をお願いしている。その愛護団体では、どんな疾患を持っている子でもしっかり飼い主さんに説明して譲渡している。
- ・（千村氏）治せない子をどうするかというのは、僕たち（獣医師）の肩にずしっとくるんですよね。
- ・（大川氏）やはり、我々業者でどうにかしなければならないこと。

#### <CSRとしての動物福祉について>

- ・（奥田）ペット産業においては、流通される商品自体が動物というステークホルダーになりうると私は考えている。動物福祉の確保はCSRと言えるのだろうか？
- ・（田中氏）もちろん、重要な社会的責任だが、非常に難しいジャンル。一般企業としては何をやったらいいのかわかりづらい。どうかかわって行けばいいのかわからない
- ・（大川氏）今！これから！！これからいろんな企業とも連携してやっていかないといけない。CSRの話を聞いて身につまされるところがある。それも含めてこれから。
- ・（森氏）動物福祉は、ペット産業の持続可能性の大前提ではないだろうか。業界全体での取り組みが必要。ステークホルダー全体で円卓会議みたいな形でやらないといけない
- ・（千村氏）適切に犬を繁殖させたら、利潤なんて出るわけがない。ペットの仕事で得た利潤をそうした部分に使えるかどうかはモラルの問題でもある。
- ・（大川氏）円安などでフードが上がり、利益がない状況で、頭数を増やしてしまうことがある。頭数が増えるとさらに劣悪な環境になる。悪循環。
- ・（奥田）そうすると、消費者もペットを安く買えないことに納得しないといけないですよね？
- ・（森氏）社会的責任を果たしたうえで生産されたペットであれば、価格が安すぎるんですよね。安い分どこかにしわ寄せがある。
- ・（大川氏）『業界ギリギリ価格』で売る店もあれば、1頭100万で売る店もある。値段を高くできる、高付加価値にしていくことでブリーダーの質も上がるのでは。

#### <ペット産業のCSRの推進に何が必要か>

- ・（千村氏）動物の持っている癒しの効果がより一般化していくことが一つのキーになるのではないか。そういう意味でもしつけをしっかりしていくことも必要。
- ・（森氏）業界全体での取り組み、飼っている方からブリーダーさんまで含む形で現状の認識と共有が必要。円卓会議など。飼い主のSRも必要では？
- ・（田中氏）ダイアログとエンゲージメント。企業や地域を含めて話をしないといけない。話をして、関係を築いていくこと。
- ・（大川氏）業界全体での取り組みが必要。そして他業種からのご意見もいただきたい。東京でCSRの講習会を開いてほしい。ペットショップのオーナーさんは絶対勉強しないとイケないと思う。

● まとめと提言編（4回目）

日時：3月22日（日） 13:30～16:00

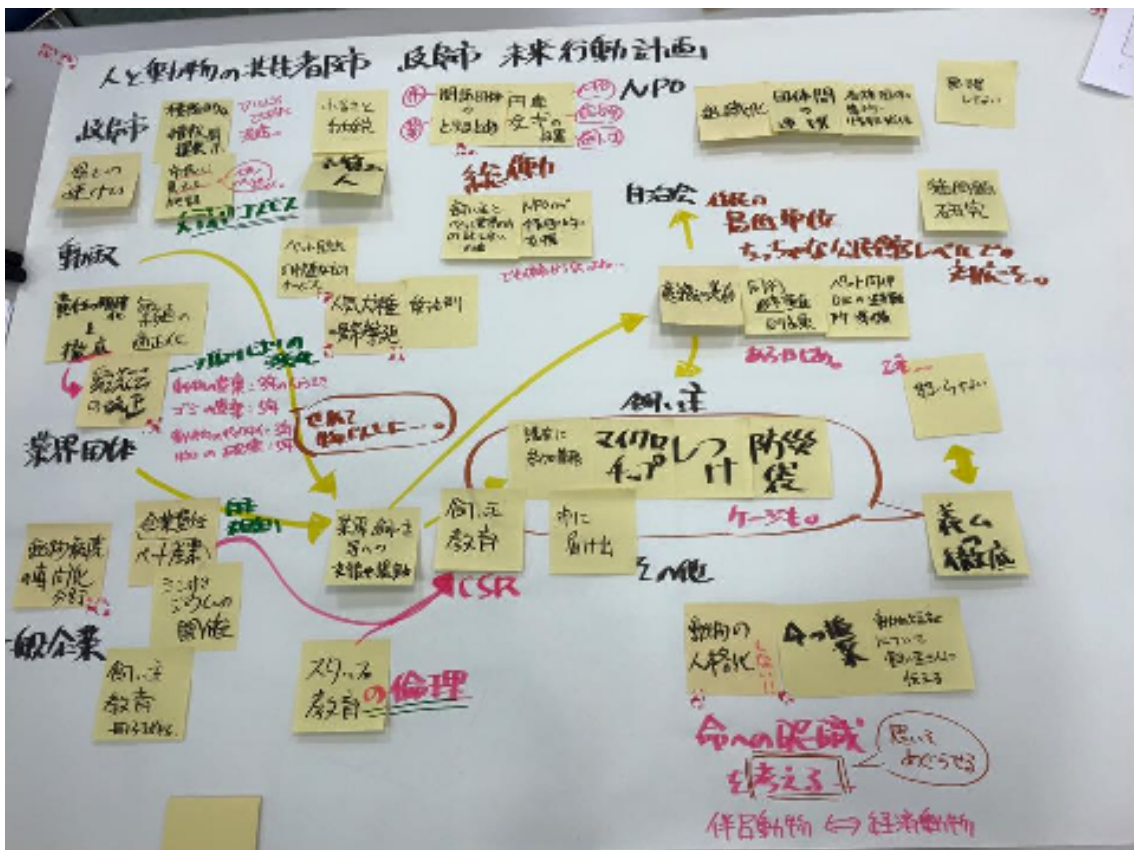
場所：ハートフルスクエアG

参加者：10名

◎ ミーティング内容

3回のタウンミーティングを経て蓄積された知見を、岐阜市における人と動物の共生に、ひいては全国の人と動物の共生の社会創りに活かしていくために提言としてまとめ、各回に参加したパネラーや協力団体と共に発表します。人と動物の共生に関わる、企業、NPO、ボランティア団体地域組織、教育機関、地方自治体、すべてのステークホルダーへの提言としていきたいと考えています。身近ないのちとの関わりを通して、私たち人間が明日できる一步を考えました。

◎ 当日の様子



当日は、これまでの回とは異なり、参加者全員参加型のワークショップを行いました。人と動物の共生都市岐阜市の未来行動計画をテーマに、意見を出し合い、以下のような対話が交わされました。

## ◎ 当日の主なダイアローグ

### <岐阜市や行政への提言>

- ・ 市民に見える施設（動物愛護センター）の設置。メディアコスモス内に作っては？積極的な情報開示が必要。
- ・ 県と足並みをそろえて、様々な取り組みができれば。
- ・ ふるさと納税で動物愛護基金を作ったらいいとおもう
- ・ 関係団体のとりまとめ、円卓会議の実施については、NPOと協働しつつ、市も動くポジションにあるのではないか

### <動物取扱業者への提言>

- ・ 繁殖の適正化、人気犬種の異常繁殖はNG。受注制にすべき
- ・ 飼い主とペット業界の話し合いの場、NPOとの連携の場が必要
- ・ 飼い主への支援と援助。飼えなくなった時など、援助が足りていない
- ・ 飼い主への教育も不十分ではないか

### <業界団体への提言>

- ・ 事業者への教育が必要。シンポジウムの開催等
- ・ 経営者、スタッフの倫理教育を推し進めるべき
- ・ 飼い主教育のための冊子作りなど

### <NPOへの提言>

- ・ NPO間の横の連携を持つべき、情報の集約をしていくべき
- ・ 業者に対するチェック機能を果たすべき

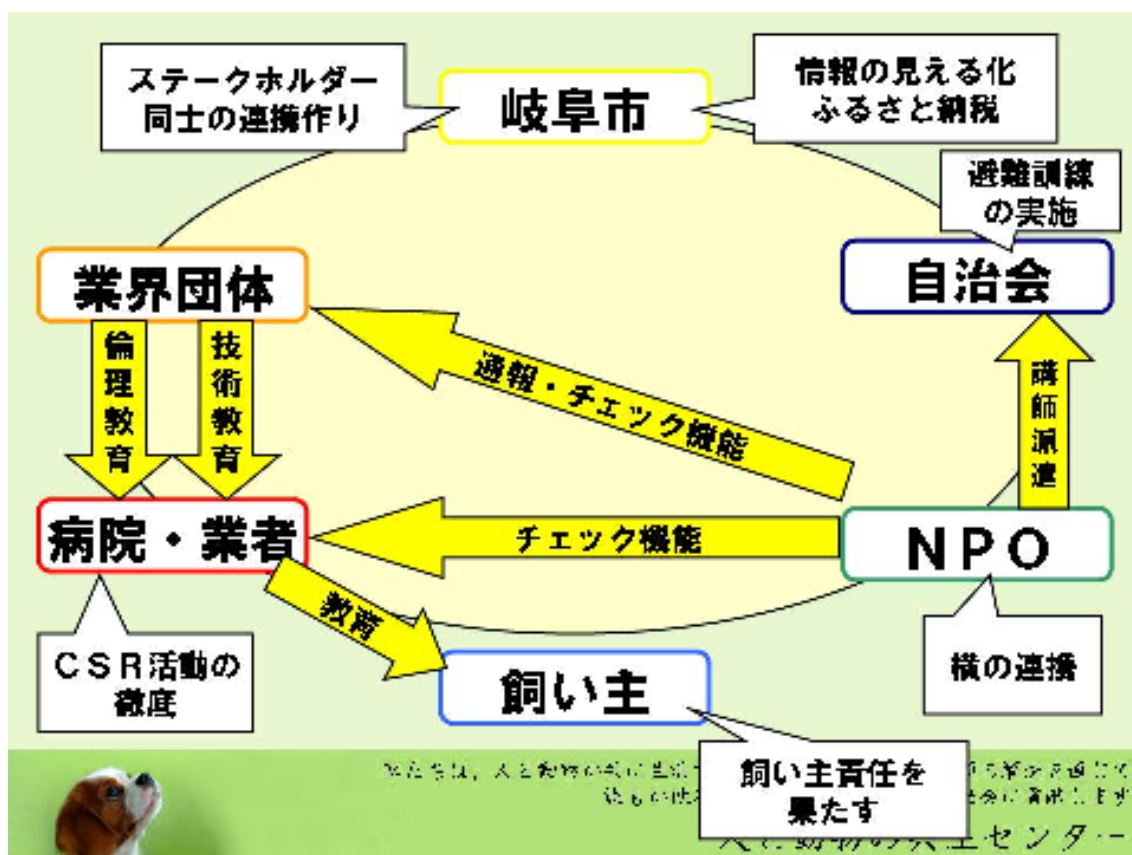
### <自治会への提言>

- ・ 自治会では避難訓練が重要。ペットの同行避難などを行い、住民意識の共有を図るべき。避難訓練の際に、徐々にでも動物の存在を考慮に入れられるようにしていく
- ・ そのためには、市町村から自治会への働きかけが必要。防災課とNPOとの連携を図るべきではないか

### <飼い主への提言>

- ・ マイクロチップの装着、災害への備え、しつけ、一般的な義務を果たせるようになってもらいたい。そのためには、飼い主教育が必要。業者が飼い主教育を行うことにより、飼い主モラルが向上する。

◎ ダイアログのまとめ



岐阜市（行政）は、各ステークホルダーが集い連携を深められる場づくりを担い、NPOは連携の補完をしていく立場にある。連携を強化することを通じて、業界団体は、企業の教育活動・CSR活動を推進することで、飼い主教育の充実を図っていくべき。飼い主は教育を受け飼い主責任を果たしていく。自治会はNPOと協働しペットの同行避難訓練などを実施し、飼い主と地域の合意形成を支援していくべきである。

これらを通じて、人と動物が共生できる社会創りを推進できるのではないかな。



## ■ 第2章 人と動物の共生都市に向けた私たちの提言

---

### 【はじめに】

第1章の通り、本タウンミーティングを通じて様々な対話がなされました。これを受けて、NPO法人人と動物の共生センターでは、『人と動物の共生都市に向けた私たちの提言』として、特に重要なポイントをまとめました。

すべての回を通じていえることは、多くのステークホルダーが関わりながら協働して行くことが必要であるという部分です。また第4回の対話にある通り、岐阜市（行政）や私どもNPOがそのコーディネートをしていくべきだと考えられます。また、周知のとおり、岐阜市ではマイペットタウン構想の検討が始められることが市長公約ともなっています。マイペットタウン構想は岐阜市（行政）の動きだけでなく、第1回で示されたように多くのボランティアや様々なステークホルダーの参加を必要とするものであることは、他市他県の事例からも推察されることから、今回の『人と動物の共生都市に向けた私たちの提言』はマイペットタウン構想への提言と言う意味も含め、まとめさせていただいております。

法律の問題、ペット関連企業の全国的な動きなど、市単位で扱うべきではない話題については割愛しております。また現状把握などの部分は、タウンミーティングで使用された参考資料で代えさせていただき、具体的な提言のみの記載となりますことご理解ください。

NPO法人人と動物の共生センター  
理事長 奥田 順之

- ◆ 提言1 円卓会議の設置
- ◆ 提言2 ボランティア研修制度
- ◆ 提言3 畜犬管理センターの動物福祉状態の向上
- ◆ 提言4 ペット同行避難訓練
- ◆ 提言5 マイペットタウン協力企業の募集

## ◆ 提言1 円卓会議の設置

～多様なステークホルダーを巻き込んだプラン作り～

---

---

人と動物の共生に関わる課題は多岐の分野にまたがり、多様なステークホルダー同士のエンゲージメントが課題解決には必要になります。そこで、岐阜市マイペットタウン構想と言う旗印に様々なステークホルダーを巻き込んだ、円卓会議の開催を提言いたします。

プラン段階から実施者の意見を取り入れ、時間をかけた対話を行っていくことで、市民協働事業の実現性効果性が高まることは様々な先事例があります。マイペットタウン構想もそうした市民と協働して作り上げる構想とすることで、効果性が高まっていくと考えられます。

### 【実施主体】

- ① 岐阜市（生活衛生課・市民協働推進課）
- ② NPO

### 【実施方法】

岐阜市とNPOの協働事業として、円卓会議の開催を行う。今回のタウンミーティングでのつながりを含め、様々な方々に参加いただき、岐阜市マイペットタウン構想をまとめていく。防災小委員会、適正飼育小委員会、猫対策小委員会等分野ごとに地域で活動するボランティアや住民、自治会組織の関係者、ペット関連業者、獣医師会、岐阜市の担当課職員などを交えて対話を行い、プランをまとめていく。

## ◆ 提言2 ボランティア研修制度

### ～ボランティアの数の増加と資質の向上とネットワークづくり～

---

---

人と動物の共生に関わる課題解決に直接的に関わるボランティアの数の増加、資質の向上、ネットワークづくりを行うことで、課題解決が加速されると考えられます。そこで、ボランティア研修制度を設け、ボランティアの資質を向上すると同時に、新たにボランティアに参加したい人にPRし、ボランティアへの入り口を設けます。また同じ地域で活動する仲間として親交を深めることで、ボランティアの定着を促進し、その力を最大化させていきます。

ボランティア向けの研修を実施すれば、ボランティアから飼い主にマナー啓発などを広めることができる点で、非常に有効な手段と考えられます。研修を修了し一時預かりなど長くボランティア活動に携わっていただいた方を動物愛護推進員に委嘱するなどして、将来的に猫問題の解決支援（地域問題の解決支援）なども担える人材を育成していきます。

#### 【実施主体】

- ① 岐阜市（市民協働推進課・生活衛生課）
- ② NPO
- ③ 企業・業界団体（獣医師会等）
- ④ 岐阜大学

#### 【実施方法】

研修制度の中身はNPO等が作成し、市が監修する形をとる。岐阜市の認定するボランティア研修制度とすることで信頼度が増し、多くの参加者協力者を得ていくことができると考えられる。NPOが主催し、市が後援（監修）する形でも実施可能かもしれない。

また、獣医師会や岐阜大学などの協力を得られれば、より信頼感のある研修事業を実施することができると考えられる。

研修修了者に一時預かりや地域猫活動のリーダーとなってもらうなどのボランティア活動に参加してもらえるようにコーディネートしていく。

### ◆ 提言3 畜犬管理センターでの動物福祉状態の向上

～ボランティアの受け入れで福祉状態の向上を～

---

---

畜犬管理センターの犬猫の福祉状態はこれまでの努力もあり、徐々に向上してきていると様々な関係者から聞き及んでいます。より一層の福祉状態の向上のためには、より積極的なボランティアとの協働が必要であると言えます。例えば、保護犬の散歩なども、提言2にあるような研修を受けたボランティアが担当できる様にするなどで、開かれた施設運営を行っていくことも可能かもしれません。

どのような方法が適切かは検討の余地が十分にありますが、市・ボランティア・業者・NPO等が協働した畜犬管理センターの動物福祉状態の向上を提言いたします。

#### 【実施主体】

- ① 岐阜市（畜犬管理センター）
- ② ボランティア
- ③ ペットシッター業者等
- ④ NPO

#### 【実施方法】

提言2にある研修を受けたボランティアの中で適任者を選定し、適任者がいる時は、保護犬の散歩ができるというような取り決めを作る。保護犬の逸走を防ぐために、ボランティア・NPOと協働し柵などの設置を行い、敷地内での散歩にするなどの工夫を行う。ボランティア保険などを活用すると同時に、同意書等を取り、万が一に備える。

あるいは、保護犬の散歩部分のみ、ペットシッター・ドッグトレーナーなどの適切な業者に委託し実施してもらい、ボランティアはそのサポートを行う。

## ◆ 提言4 ペット同行避難訓練

～住民意識の共有、もしもの災害へ積極的な備えを～

---

---

東日本大震災以来、ペットと同行避難の問題は様々な場所に取り沙汰されています。しかし、自治会でのペットの同行避難訓練では根強い反発もあるようです。そこで、岐阜市から各自治会向けに、ペットとの同行避難訓練に関する情報提供を行うことで、各自治会の意識を高め、同行避難訓練の実施を後押しします。またNPO等でペットとの同行避難訓練の支援ができるメンバーを募り、自治会の要請があれば講師派遣を行えるようにします。

### 【実施主体】

- ① 各自治会
- ② 岐阜市（防災対策課・市民協働推進課・生活衛生課）
- ③ NPO
- ④ 岐阜大学
- ⑤ 獣医師会

### 【実施方法】

初期段階では、防災対策として、市から自治会へペットの同行避難訓練の実施を推奨する通知を行う。同行避難訓練を実施したい自治会があれば、適切にサポートができるNPO、岐阜大学、獣医師会等を紹介し自治会での避難訓練の実施をサポートしていく。

## ◆ 提言5 マイペットタウン 協力企業の募集

### ～企業と協力した横展開と啓発活動～

---

---

人と動物の共生都市の実現の過程では、如何に興味のない層に周知啓発していくかと言うことがポイントとなってくると考えられます。そこで、マイペットタウン協力企業を募集し、地域の企業に加入してもらうことで、企業を巻き込み政策を展開していくことを提言いたします。

応募してきた企業には、マイペットタウン協力企業として認定し、ステッカーなどを発行すると同時に、啓発印刷物の配布協力を依頼します。その他、メールマガジン等で情報提供を行い、協力企業同士の連携を深め、その中で動物に関連した新規産業の創出なども検討していきます。

#### 【実施主体】

- ① 岐阜市（生活衛生課）
- ② NPO
- ③ 商工会議所、青年会議所等

#### 【実施方法】

初期段階では、啓発印刷物の設置という明確な協力内容を提示した形で協力企業を募集する。啓発印刷物は、NPOと市の協働で作成する。印刷物を定期的に発行し、配布を行っていく。ペット関連企業については直接的なCSRとして、一般企業については地域活動への参加というCSRの一環で実施していただく。

将来的には、協力企業が集まる場を設けたり、メールマガジンを発行するなどして、協力企業同士の連携を支援する。そこから人と動物の共生都市に貢献する新規産業が創出される様なサポートを行っていく。

## 人と動物の共生センターの紹介

人と動物が共に生活することで起こる社会的課題の解決を通じて、誰もが他者を思いやることの出来る社会に貢献する

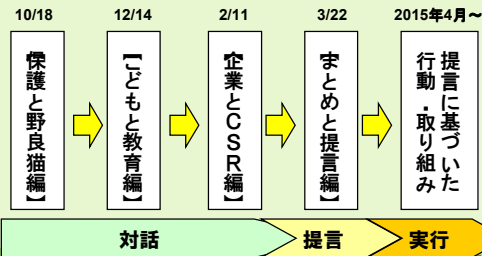
- ・ 飼い主が学ぶ犬の学校ONELife
- ・ ぎふ動物行動クリニック
- ・ マナーアップ等啓発イベントの実施
- ・ 子ども向けイベント『目指せ！犬博士』
- ・ 保護活動の支援の実施
- ・ タウンミーティングの開催、政策提言

私たちは、人と動物が共に生活することで起こる社会的課題の解決を通じて、誰もが他者を思いやることの出来る社会に貢献します

人と動物の共生センター

## タウンミーティングの主旨

様々なステークホルダーとの対話を通じて、岐阜市の人と動物の共生の在り方を考え、各主体へ提言を行う



私たちは、人と動物が共に生活することで起こる社会的課題の解決を通じて、誰もが他者を思いやることの出来る社会に貢献します

人と動物の共生センター

## タウンミーティングの主旨

ディスカッションを通じて課題と解決策を掘り下げる



私たちは、人と動物が共に生活することで起こる社会的課題の解決を通じて、誰もが他者を思いやることの出来る社会に貢献します

人と動物の共生センター

## 第1回の報告【保護と野良猫編】



【野良猫について】  
・行政依存ではなく、自助、共助を進めるべき

【保護について】  
・苦しい楽しめる保護活動を進めていくべき

Youtubeにて『人と動物の共生センター』で検索！

私たちは、人と動物が共に生活することで起こる社会的課題の解決を通じて、誰もが他者を思いやることの出来る社会に貢献します

人と動物の共生センター

## 第1回報告【保護と野良猫編】

人と動物の共生センター

大連の動物のボランティアに憧れていたけど・・・どうしたら？

### 犬猫保護ボランティア入門講座！

日 時：1日目 2月1日(日)  
2日目 2月8日(日)  
時 間：13:30～19:00(9時)迄  
場 所：ドリームシアター岐阜(岐阜県岐阜市)  
定 額：20名迄10,400円  
参加費：一連4,000円 会場2,000円(税込)  
申込先：人と動物の共生センター

申し込み

私たちは、人と動物が共に生活することで起こる社会的課題の解決を通じて、誰もが他者を思いやることの出来る社会に貢献します

人と動物の共生センター

## 第2回の報告【子どもと教育編】



主なダイアローグ

・ 学校はカリキュラムでいっぱい。地域家庭でやれる方法を見出すべき。

・ 動物への理解だけでなく、動物と関わる人々への理解についての教育が必要。

・ 教員が知らない。教員が知る機会を作るべき。

パネラー同士の連携⇒3月にAAEのイベントを実施予定

私たちは、人と動物が共に生活することで起こる社会的課題の解決を通じて、誰もが他者を思いやることの出来る社会に貢献します

人と動物の共生センター

### 第3回の報告【企業とCSR編】



- 主なダイアログ
- ・ペット関連企業のCSRはより推進されるべき
  - ・多くの経営者はCSRについて学ぶべきだ
  - ・企業のみには縛られないボランティアや行政を巻き込んだ円卓会議も必要

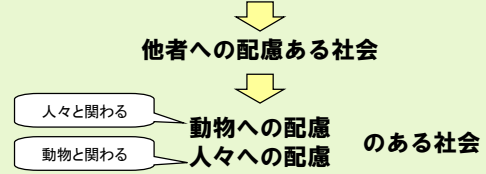
今年秋ごろに、ペット産業のCSRシンポジウム開催予定

私たちは、人と動物が共に生活することで起こる社会的課題の解決を通じて誰もが他者を思いやることの出来る社会に貢献します

人と動物の共生センター

### ■ 人と動物の共生センターの理念と理想の社会像

人と動物が共に生活することで起こる社会的課題の解決を通じて誰もが他者を思いやることの出来る社会創りに貢献する



Ex)なるべく殺さない  
Ex)放し飼いしない  
Ex)避難訓練で動物の存在を考慮に入れる

私たちは、人と動物が共に生活することで起こる社会的課題の解決を通じて誰もが他者を思いやることの出来る社会に貢献します

人と動物の共生センター

### ■ 人と動物の共生の現状

- ・犬猫の飼育数は、約2000万頭  
⇒18歳未満の子どもの数、約2000万人
- ・岐阜県のペット飼育率：29.1%
- ・動物が好き、どちらかと言えば好き：68.0%
- ・動物が嫌い、どちらかと言えば嫌い：25.4%
- ・生活に喜びを与えてくれるもの=ペットの存在と答えた飼育者の割合  
犬：79.7%で2位（1位は家族で81.8%）  
猫：82.3%で1位（2位は家族で78.0%）

私たちは、人と動物が共に生活することで起こる社会的課題の解決を通じて誰もが他者を思いやることの出来る社会に貢献します

人と動物の共生センター

### ■ 人と動物の共生の現状

犬猫の殺処分  
(平成24年)

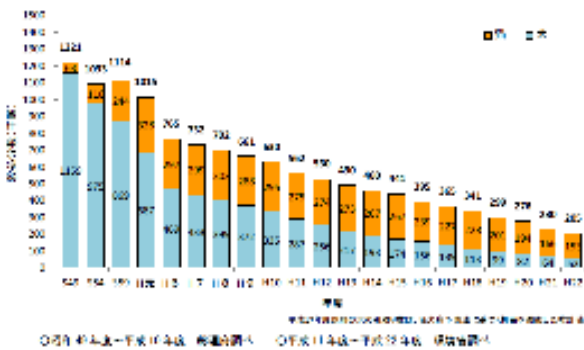


16万頭

私たちは、人と動物が共に生活することで起こる社会的課題の解決を通じて誰もが他者を思いやることの出来る社会に貢献します

人と動物の共生センター

全国の犬・猫の殺処分数の推移

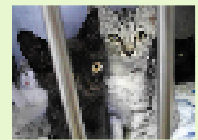


私たちは、人と動物が共に生活することで起こる社会的課題の解決を通じて誰もが他者を思いやることの出来る社会に貢献します

人と動物の共生センター

### ■ 人と動物の共生の現状

岐阜市の殺処分  
(平成24年)



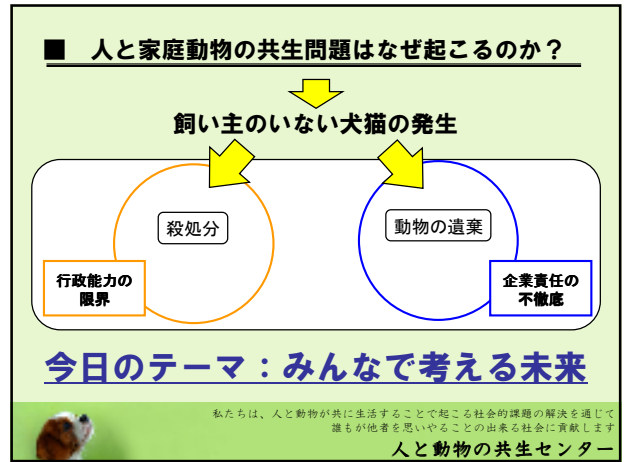
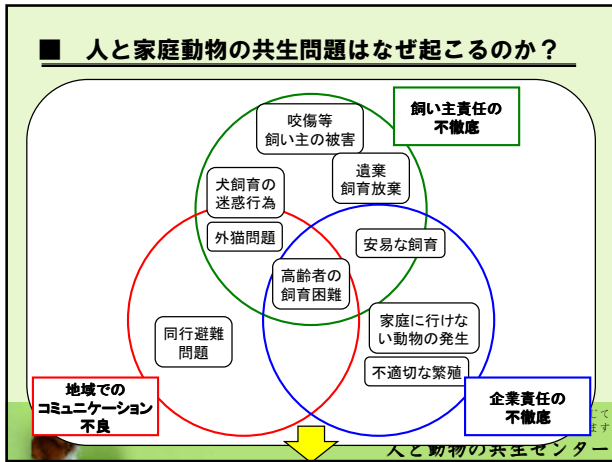
411頭

猫403匹 犬8頭

私たちは、人と動物が共に生活することで起こる社会的課題の解決を通じて誰もが他者を思いやることの出来る社会に貢献します

人と動物の共生センター





【岐阜市の人と動物に共生を促すセミナー】

## 岐阜市における、人と犬猫との共生

これまでと、これからと。【医師と獣医師の対談】



10/18  
15:00  
10:00~15:00

13:00~15:00

パネリスト

岐阜市保健所	副主幹	片桐 重信 氏
HAPPY Choice	代表	田口 尚也 氏
NECO REPUBLIC	代表	河瀬 麻香 氏
ホランティアクーティネーター		後藤 理香子 氏
(一社) Do It Yourself	代表理事	東 善朗 氏

## 本日のスケジュール

13:00	ごあいさつ・趣旨説明
13:10	レクチャー① 片桐氏・河瀬氏
13:25	パネルディスカッション(野良猫) 片桐氏・河瀬氏・東氏
13:50	レクチャー② 田口氏・後藤氏
14:05	パネルディスカッション(保護活動) 片桐氏・田口氏・後藤氏
14:30	グループワーク
15:00	終了

私たちは、人と動物が共に生活することで起こる社会的課題の解決を通じて誰もが他者を思いやることの出来る社会に貢献します

人と動物の共生センター

## パネリスト紹介

岐阜市保健所	副主幹	片桐 重信 氏
HAPPY Choice	代表	田口 尚也 氏
NECO REPUBLIC	代表	河瀬 麻香 氏
ホランティアクーティネーター		後藤 理香子 氏
(一社) Do It Yourself	代表理事	東 善朗 氏

私たちは、人と動物が共に生活することで起こる社会的課題の解決を通じて誰もが他者を思いやることの出来る社会に貢献します

人と動物の共生センター

## パネルディスカッション① 野良猫問題ってどうよ？

岐阜市保健所	副主幹	片桐 重信 氏
NECO REPUBLIC	代表	河瀬 麻香 氏
(一社) Do It Yourself	代表理事	東 善朗 氏

私たちは、人と動物が共に生活することで起こる社会的課題の解決を通じて誰もが他者を思いやることの出来る社会に貢献します

人と動物の共生センター

## Q. 野良猫問題って誰の問題？

自助：共助：公助

||

〇〇：△△：□□

私たちは、人と動物が共に生活することで起こる社会的課題の解決を通じて誰もが他者を思いやることの出来る社会に貢献します

人と動物の共生センター

## パネルディスカッション② 保護譲渡活動を進めるには？

岐阜市保健所	副主幹	片桐 重信 氏
HAPPY Choice	代表	田口 尚也 氏
ホランティアクーティネーター		後藤 理香子 氏

私たちは、人と動物が共に生活することで起こる社会的課題の解決を通じて誰もが他者を思いやることの出来る社会に貢献します

人と動物の共生センター

Q. 今の保護活動に

どんな人の  
参加が必要？

私たちは、人と動物が共に生活することで起こる社会的課題の解決を通じて  
誰もが他者を思いやることの出来る社会に貢献します

人と動物の共生センター

Q. 保護活動における

適切な活動参加  
へのプロセスって？

私たちは、人と動物が共に生活することで起こる社会的課題の解決を通じて  
誰もが他者を思いやることの出来る社会に貢献します

人と動物の共生センター

### 第2回タウンミーティング

12月14日(日) 13:30~

場所：未定

## 子どもと教育編

元岐阜市教育長  
NPO法人Meets Vision  
桜丘中学校  
一宮AAEドッグスクラブ

安藤 征治 氏  
松岡 慎也 氏  
横山 真智子 氏  
檜垣 文 氏

私たちは、人と動物が共に生活することで起こる社会的課題の解決を通じて  
誰もが他者を思いやることの出来る社会に貢献します

人と動物の共生センター

# 人と動物の共生を考える タウンミーティング 【こどもと教育編】

- 13:30～ 主催者あいさつ、主旨説明
- 13:40～ 人と動物の共生の現状について
- 13:50～ パネルディスカッション①②
- 14:20～ 一宮AAEドッグスクラブの活動紹介
- 14:30～ パネルディスカッション③④
- 15:00～ グループディスカッション
- 16:00 終了

私たちは、人と動物が共に生活することで起こる社会的課題の解決を通じて  
誰もが他者を思いやることの出来る社会に貢献します

人と動物の共生センター

## ■ 本日のスケジュール

- 13:30～ 主催者あいさつ、主旨説明
- 13:40～ パネラー紹介
- 13:50～ 人と動物の共生の現状について
- 14:00～ パネルディスカッション①②
- 14:25～ 一宮AAEドッグスクラブ  
の活動紹介
- 14:35～ パネルディスカッション③④
- 15:00～ グループディスカッション
- 16:00 終了

私たちは、人と動物が共に生活することで起こる社会的課題の解決を通じて  
誰もが他者を思いやることの出来る社会に貢献します

人と動物の共生センター

## ■ パネラー紹介

- ・元岐阜市教育長 安藤 征治 氏
- ・一宮AAEドッグスクラブ 檜垣 史 氏
- ・岐阜善光寺 住職 松枝 秀晃 氏
- ・NPO法人Meets Vision 松岡 慎也 氏
- ・桜丘中学校 教諭 横山 真智子 氏

私たちは、人と動物が共に生活することで起こる社会的課題の解決を通じて  
誰もが他者を思いやることの出来る社会に貢献します

人と動物の共生センター

## ■ 課題の原因と解決策に関する考察

ぎふ動物行動クリニックでの相談で感じること



犬が好きだとしても...  
・犬に振り回される関係

『好き≠理解』  
理解していないと  
関係が築けない

私たちは、人と動物が共に生活することで起こる社会的課題の解決を通じて  
誰もが他者を思いやることの出来る社会に貢献します

人と動物の共生センター

## ■ 課題の原因と解決策に関する考察

### 飼い主

動物の生態や飼育について理解していないために、  
安易な飼育を開始してしまったり、問題行動や迷惑  
行為に発展してしまうのではないか。

### 非飼い主

動物について理解していないことで、実際の迷惑以  
上に、動物=嫌なモノと捉えてしまうのではないか。

人の動物に対する理解を促進することで  
様々な問題を解決できるのではないか

人の動物に対する社会化

課題の解決を通じて  
社会に貢献します

人と動物の共生センター

## ■ 本日は話したいテーマ

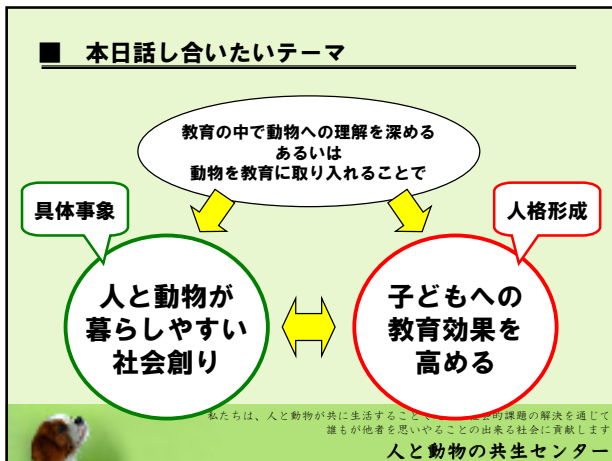
子どもたちへの教育として  
動物への理解を促進することで

人と動物が共生し暮らしやすい  
社会になるのではないか？

どうすればそれができるか？

私たちは、人と動物が共に生活することで起こる社会的課題の解決を通じて  
誰もが他者を思いやることの出来る社会に貢献します

人と動物の共生センター



■ 教育分野における状況

道徳の教科化 (2014年9月20日産経ニュースより)  
中央教育審議会の道徳教育専門部会が、現在は正式な教科ではない小中学校の「道徳の時間」を、数値評価を行わない「特別の教科」に格上げし、検定教科書を使用することなどを盛り込んだ答申案をまとめた。家庭や地域との連携強化が重要と指摘したほか、具体的な学習内容としていじめ問題、情報モラルや生命倫理など現代的な課題を扱うよう求めた。

**生命倫理？**  
**動物と教育というテーマに親和性が高いのではないか...**

私たちは、人と動物が共に生活することで起こる社会的課題の解決を通じて  
誰もが他者を思いやることの出来る社会に貢献します  
人と動物の共生センター

■ ディスカッションテーマ①

【ディスカッション①】

『生命倫理』『命の教育』  
って何？

※スケッチブックに一言で書いてください

私たちは、人と動物が共に生活することで起こる社会的課題の解決を通じて  
誰もが他者を思いやることの出来る社会に貢献します  
人と動物の共生センター

■ 一宮AAEドッグスクラブの活動

AAE  
Animal Assisted Education 動物介在教育のこと

AAEの目的  
子供達が犬を介して命の尊さを学び、互いの違いに興味を持ち、他者・異文化を受け入れ、共生できる心を育む事を目的としています。

活動紹介をしてもらいましょう！

私たちは、人と動物が共に生活することで起こる社会的課題の解決を通じて  
誰もが他者を思いやることの出来る社会に貢献します  
人と動物の共生センター

■ ディスカッションテーマ②

【ディスカッション②】

学校教育における  
動物を介した『命の教育』  
効果的にするためには？

※スケッチブックにコメントを書いてください

私たちは、人と動物が共に生活することで起こる社会的課題の解決を通じて  
誰もが他者を思いやることの出来る社会に貢献します  
人と動物の共生センター

■ ディスカッションテーマ③

【ディスカッション③】

学校、地域、家庭...  
動物に関わる教育は  
だれが、どこで、どうやって  
推進されるべき？

※スケッチブックにコメントを書いてください

私たちは、人と動物が共に生活することで起こる社会的課題の解決を通じて  
誰もが他者を思いやることの出来る社会に貢献します  
人と動物の共生センター

■ グループディスカッション

【ディスカッション①】

まずは自己紹介しましょう！

お名前	ペット いる・いない
印象に残った コメント	自分に できそうなこと

私たちは、人と動物が共に生活することで起こる社会的課題の解決を通じて  
誰もが他者を思いやることの出来る社会に貢献します  
人と動物の共生センター

■ グループディスカッション

【ディスカッション②】

学校、家庭、地域における  
動物を介した『命の教育』を  
推進していくために  
“こんなことができるのでは”  
ってことってある？

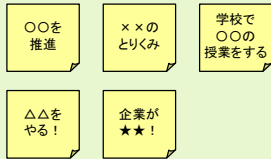
私たちは、人と動物が共に生活することで起こる社会的課題の解決を通じて  
誰もが他者を思いやることの出来る社会に貢献します  
人と動物の共生センター

■ グループディスカッション

学校、家庭、地域における、  
動物を介した『命の教育』を推進していくために  
“こんなことができるのでは”ってことってある？

【ディスカッションの手順】

- ① 4人～6人で1グループを作る
- ② 1人あたり4枚の付箋に、  
こうなったらいいの！と思う  
ことを書く。(3分考えます)  
※ 1付箋に1項目  
※ ○○するという語尾に  
してください。



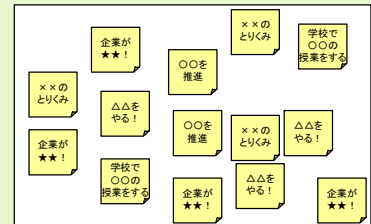
私たちは、人と動物が共に生活することで起こる社会的課題の解決を通じて  
誰もが他者を思いやることの出来る社会に貢献します  
人と動物の共生センター

■ グループディスカッション

学校、家庭、地域における、  
動物を介した『命の教育』を推進していくために  
“こんなことができるのでは”ってことってある？

【ディスカッションの手順】

- ③ すべての付箋を  
ばらばらにして、  
模造紙の上に貼る



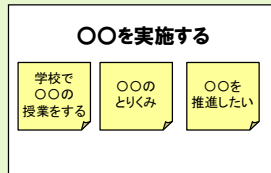
私たちは、人と動物が共に生活することで起こる社会的課題の解決を通じて  
誰もが他者を思いやることの出来る社会に貢献します  
人と動物の共生センター

■ グループディスカッション

学校、家庭、地域における、  
動物を介した『命の教育』を推進していくために  
“こんなことができるのでは”ってことってある？

【ディスカッションの手順】

- ④ 正面に一番近い人が、1つの付箋について発表し、A4の紙に貼る。
- ⑤ 近い意見を書いた人がいたら、付箋を取り、内容を発表し、吟味しながら貼り付ける
- ⑥ 近い付箋が1～3個集まったら、それらの付箋をまとめるタイトルをつける。



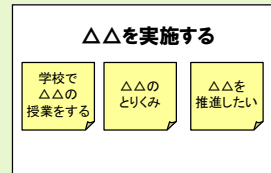
私たちは、人と動物が共に生活することで起こる社会的課題の解決を通じて  
誰もが他者を思いやることの出来る社会に貢献します  
人と動物の共生センター

■ グループディスカッション

学校、家庭、地域における、  
動物を介した『命の教育』を推進していくために  
“こんなことができるのでは”ってことってある？

【ディスカッションの手順】

- ⑦ 初めに発表した人の右隣りの人が1つ付箋をだし、同じように進める
  - ⑧ 付箋が全部出るまで続ける
- ※ それぞれの付箋の意見を聞いて、  
どのような意味が興味してください。
- ※ 1枚のモノを無理にまとめない



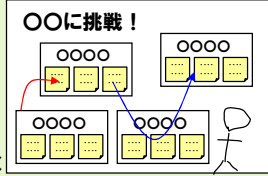
私たちは、人と動物が共に生活することで起こる社会的課題の解決を通じて  
誰もが他者を思いやることの出来る社会に貢献します  
人と動物の共生センター

## ■ グループディスカッション

学校、家庭、地域における、  
動物を介した『命の教育』を推進していくために  
“こんなことができるのでは”ってことってある？

【ディスカッションの手順】

- ⑨ まとめたA4の紙を模造紙に配置して、各紙の項目の関連性を考えて配置してください。また、関連の中身や落書きをして話した内容がわかりやすくまとめてください。
- ⑩ 模造紙のどこかに、オモシロイと思う具体的なアクションを記入してください。



私たちは、人と動物が共に生活することで起こる社会的課題の解決を通じて  
誰もが他者を思いやることの出来る社会に貢献します

人と動物の共生センター

## ■ 次回予告

2月11日（水・祝）13：30～

場所：ハートフルスクエアG

## ペット産業の 社会的責任を考える

（一社）ペットパーク流通協会  
サンメッセ株式会社 IR/CSR企画推進室長  
千村どうぶつ病院  
（一社）SR連携プラットフォーム

大川 順士 氏  
田中 信康 氏  
千村 収一 氏  
森 健輔 氏  
(50音順)

私たちは、人と動物が共に生活することで起こる社会的課題の解決を通じて  
誰もが他者を思いやることの出来る社会に貢献します

人と動物の共生センター

人と動物の共生を考えるタウンミーティング（3）

# ペット産業の 社会的責任を考える

- 13:30～ 主催者あいさつ、主旨説明
- 13:40～ パネラー紹介
- 13:50～ 人と動物の共生の現状について
- 14:00～ CSRってなんだっけ？
- 14:30～ ペット産業の現在とCSR
- 15:10～ パネルディスカッション
- 15:55～ 次回予告・事務連絡
- 16:00 終了

私たちは、人と動物が共に生活することで起こる社会的課題の解決を通じて  
誰もが他者を思いやることの出来る社会に貢献します

人と動物の共生センター

## ■ 本日のスケジュール

- 13:30～ 主催者あいさつ、主旨説明
- 13:40～ パネラー紹介
- 13:50～ 人と動物の共生の現状について
- 14:00～ CSRってなんだっけ？
- 14:30～ ペット産業の現在とCSR
- 15:10～ パネルディスカッション
- 15:55～ 次回予告・事務連絡
- 16:00 終了

私たちは、人と動物が共に生活することで起こる社会的課題の解決を通じて  
誰もが他者を思いやることの出来る社会に貢献します

人と動物の共生センター

## ■ パネラー紹介

- ・一般社団法人  
ペットパーク流通協会 大川 順士 氏
- ・サンメッセ株式会社  
IR/CSR推進室 田中 信康 氏
- ・千村どうぶつ病院 千村 収一 氏
- ・一般社団法人  
SR連携プラットフォーム 森 健輔 氏

私たちは、人と動物が共に生活することで起こる社会的課題の解決を通じて  
誰もが他者を思いやることの出来る社会に貢献します

人と動物の共生センター

## ■ 本日のねらい

ペット産業のCSR推進というテーマについては、  
これまでほとんど議論されてきていない。そこで・・・

- ・ ペット産業の専門家に、CSR推進を考えてもらう
- ・ CSR推進の専門家に、ペット産業を考えてもらう
- ・ 参加者と共に、ペット産業のCSRについて対話する



今後のペット産業のCSR推進  
について対話を深め  
企業に対する提言につなげていきたい

私たちは、人と動物が共に生活することで起こる社会的課題の解決を通じて  
誰もが他者を思いやることの出来る社会に貢献します

人と動物の共生センター

## ■ 本日の流れ

- ① CSRってなんだっけ？  
『CSRの定義とSRの必要性』 森 健輔 氏  
『企業におけるCSRの推進事例』 田中 信康 氏
- ② ペット産業の現在と社会貢献  
インタビュー『ペット産業について聞く』  
大川 順士 氏  
事例紹介『ペットオークションと動物病院の連携』  
大川 順士 氏 ・ 千村 収一 氏
- ③ パネルディスカッション  
～ペット産業のCSRを考える～

私たちは、人と動物が共に生活することで起こる社会的課題の解決を通じて  
誰もが他者を思いやることの出来る社会に貢献します

人と動物の共生センター

# CSRって なんだっけ？

私たちは、人と動物が共に生活することで起こる社会的課題の解決を通じて  
誰もが他者を思いやることの出来る社会に貢献します

人と動物の共生センター



■ CSRってなんだっけ？

【情報提供】

CSRの定義と  
SRの必要性

森 健輔 氏

私たちは、人と動物が共に生活することで起こる社会的課題の解決を通じて  
誰もが他者を思いやることの出来る社会に貢献します  
人と動物の共生センター

■ CSRってなんだっけ？

【事例紹介】

企業における  
CSRの推進事例

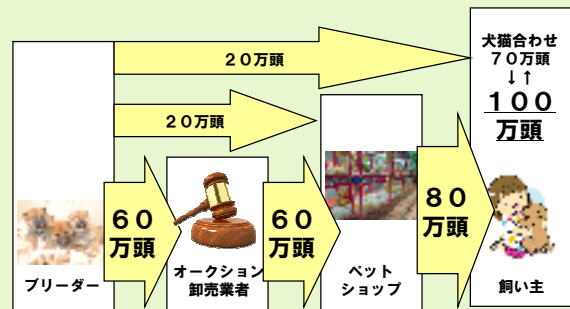
田中 信康 氏

私たちは、人と動物が共に生活することで起こる社会的課題の解決を通じて  
誰もが他者を思いやることの出来る社会に貢献します  
人と動物の共生センター

ペット産業の  
現在とCSR

私たちは、人と動物が共に生活することで起こる社会的課題の解決を通じて  
誰もが他者を思いやることの出来る社会に貢献します  
人と動物の共生センター

■ ペット産業の現在（生体販売の構造）



私たちは、人と動物が共に生活することで起こる社会的課題の解決を通じて  
誰もが他者を思いやることの出来る社会に貢献します  
人と動物の共生センター

■ ペット産業の現在（動物愛護管理法の規制）

平成25年動物愛護管理法改正の要旨

- ・ 終生飼養の原則  
⇒販売が困難な動物を最期まで飼う責任の明確化
- ・ 幼齢動物の販売制限  
⇒45日齢（現在）未満の販売禁止
- ・ 犬猫等健康安全計画の遵守  
⇒販売が困難になった、繁殖に適さなくなった  
犬及び猫の取り扱い（具体的な譲渡先等の明記）

私たちは、人と動物が共に生活することで起こる社会的課題の解決を通じて  
誰もが他者を思いやることの出来る社会に貢献します  
人と動物の共生センター

■ ペット産業の実際とは？

ペット産業 = ブラックボックス



パンドラの箱を  
開けてみよう！

私たちは、人と動物が共に生活することで起こる社会的課題の解決を通じて  
誰もが他者を思いやることの出来る社会に貢献します  
人と動物の共生センター

## ■ ペット産業の実際

【インタビュー】

# ペット産業の現在

大川 順士 氏

私たちは、人と動物が共に生活することで起こる社会的課題の解決を通じて  
誰もが他者を思いやることの出来る社会に貢献します  
人と動物の共生センター

## ■ ペット産業の実際

【事例紹介】

# ペットオークションと 動物病院の連携

大川 順士 氏 千村 収一 氏

私たちは、人と動物が共に生活することで起こる社会的課題の解決を通じて  
誰もが他者を思いやることの出来る社会に貢献します  
人と動物の共生センター

# ペット産業の CSRを考える

私たちは、人と動物が共に生活することで起こる社会的課題の解決を通じて  
誰もが他者を思いやることの出来る社会に貢献します  
人と動物の共生センター

## ■ ペット産業の特殊性とCSR

- ・ 命あるものを流通させるという特殊性
- ・ 流通の対象である動物がステークホルダーたり得る
- ・ 一つとして同じ動物はおらず、  
病気や障害を含めて、一つの命である
- ・ 一定の性能を発揮するモノではなく、  
飼い主の育て方次第で様々な性格や行動を表す



- ①生産・流通上の動物福祉に対する責任
- ②飼い主に対する説明責任とフォローアップ責任  
(③外来種の移入と生物多様性に対する責任)

私たちは、人と動物が共に生活することで起こる社会的課題の解決を通じて  
誰もが他者を思いやることの出来る社会に貢献します  
人と動物の共生センター

## ■ 動物福祉の5つの自由

- ・ 飢え、渇きからの自由
- ・ 不安、恐れからの自由
- ・ 不快な環境からの自由
- ・ 痛み、病気、怪我からの自由
- ・ 生得的な行動を表出する自由

私たちは、人と動物が共に生活することで起こる社会的課題の解決を通じて  
誰もが他者を思いやることの出来る社会に貢献します  
人と動物の共生センター

## ■ ディスカッションテーマ①

【ディスカッション】

生産・流通上の  
動物福祉に対する責任は  
ペット産業のCSRと言えるか？

※スケッチブックにコメントを書いてください

私たちは、人と動物が共に生活することで起こる社会的課題の解決を通じて  
誰もが他者を思いやることの出来る社会に貢献します  
人と動物の共生センター

■ ディスカッションテーマ②

【ディスカッション】

ペット産業の  
CSRの推進には  
何がキーになると思うか？

※スケッチブックにコメントを書いてください

誰かが他者を思いやることの出来る社会に貢献します

人と動物の共生センター

人と動物の共生を考えるタウンミーティング（４）

# みんなで考える 人と動物の共生の未来

- 13:30～ 主催者あいさつ、主旨説明
- 13:40～ これまでの取り組みの紹介
- 13:50～ ワークショップ  
マイペットタウン構想を考える
- 15:20～ 提言のまとめと今後の流れの確認
- 16:00 終了

私たちは、人と動物が共に生活することで起こる社会的課題の解決を通じて  
誰もが他者を思いやることの出来る社会に貢献します

人と動物の共生センター

## ■ 本日のスケジュール

- 13:30～ 主催者あいさつ、主旨説明  
これまでの取り組みの紹介
- 13:40～ 本日の前提の紹介
- 13:50～ ワークショップ  
マイペットタウン構想を考える
- 15:20～ 提言に向けて  
提言ってどうしたらいいの？  
今後の流れの確認
- 16:00 終了

私たちは、人と動物が共に生活することで起こる社会的課題の解決を通じて  
誰もが他者を思いやることの出来る社会に貢献します

人と動物の共生センター

## ■ 本日のねらい

岐阜市では、細江市長により  
『マイペットタウン構想』が公約として掲げられている

- ・ 実はその内容はまだまだ検討段階
- ・ 政策立案担当者もいいアイデアを求めている！？
- ・ ここはみんなで力になってあげよう！（おせっかい？）



マイペットタウン構想について  
みんなで考えて  
私たちの提言としてまとめよう！

私たちは、人と動物が共に生活することで起こる社会的課題の解決を通じて  
誰もが他者を思いやることの出来る社会に貢献します

人と動物の共生センター

## ■ マイペットタウン構想とは？

根拠法：動物愛護管理法、狂犬病予防法など

国の計画：人と動物が幸せに暮らす社会の実現プロジェクト  
平成26年6月発表

県の計画：動物愛護推進計画  
平成20年3月策定 平成26年4月改定

市の計画：まだない ←

自治会の計画：ほとんどない

小規模になる程  
生活に近い

私たちは、人と動物が共に生活することで起こる社会的課題の解決を通じて  
誰もが他者を思いやることの出来る社会に貢献します

人と動物の共生センター

## ■ マイペットタウン構想とは？

細江市長のマニフェストより

『マイペットタウン構想（動物愛護センターの整備）  
の検討を開始します』

私たちは、人と動物が共に生活することで起こる社会的課題の解決を通じて  
誰もが他者を思いやることの出来る社会に貢献します

人と動物の共生センター

## ■ マイペットタウン構想とは？

6月の議会答弁（和田直也議員質問・健康福祉部長より）

この構想の実現に向けましては、今後、先進都市の取り組みを参考にしながら現状の把握と課題の整理を行うとともに、**構想のあり方及び動物愛護に係る条例**、あるいは**行動計画**の必要性の検討、さらに、譲渡施設や動物のふれあい広場などがあり、災害時の動物救援の機能も備えた動物愛護の拠点である仮称・**動物愛護センターにつきましても**、その機能や規模などについて**調査研究**するとともに、**庁内部局や関係団体等とも検討**するなど、**マイペットタウン構想の準備**を進めてまいります。

私たちは、人と動物が共に生活することで起こる社会的課題の解決を通じて  
誰もが他者を思いやることの出来る社会に貢献します

人と動物の共生センター

# と、いうわけで

私たちは、人と動物が共に生活することで起こる社会的課題の解決を通じて  
誰もが他者を思いやることの出来る社会に貢献します  
人と動物の共生センター

## ■ みんなで考えるマイペットタウン構想

### 『人と動物の共生都市』岐阜市の未来行動計画

岐阜市 △△を実施する(〇〇課) ××の実施(★★課)	ボランティア・NPO △△を実施する(ボランティア) ××の実施(NPO)
動物取扱業者・ペットショップ △△を実施する(販売業) ××の実施(訓練業)	自治会等 △△を実施する(自治会) ××の実施(自治会)
業界団体・獣医師会 △△を実施する(ペット協会) ××の実施(獣医師会)	飼い主 △△を実施する(飼い主) ××の実施(飼い主)
一般企業 △△を実施する(ホームセンター) ××の実施(???)	その他 △△を実施する(???) ××の実施(???)

人と動物の共生センター

## ■ ワークショップの流れ

- ① 自己紹介 (10分)
- ② シートへの個人記入 (10分)
- ③ 付箋に書き写す (5分)
- ④ 全体で共有しながら発表  
模造紙にいろいろ書き込みながら  
【アイデアの深掘りをする】  
⇒それを実現するには誰のどんな協力が必要?  
⇒現在足りてない資源は何だろう?
- ⑤ 提言全体をまとめていく (15分)

私たちは、人と動物が共に生活することで起こる社会的課題の解決を通じて  
誰もが他者を思いやることの出来る社会に貢献します  
人と動物の共生センター

おなまえ

普段何してる?

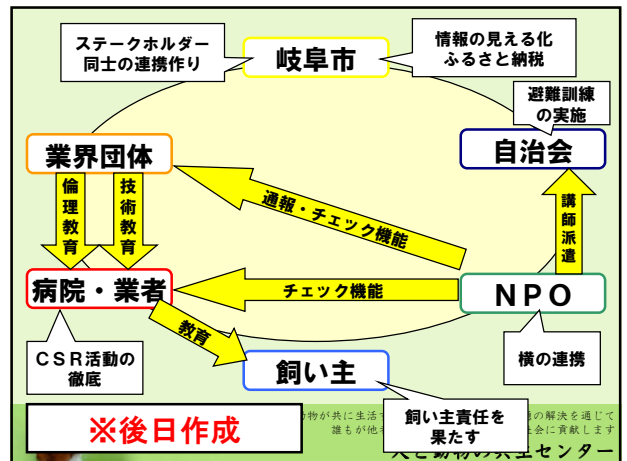
参加した  
きっかけ

特に  
提言したいコト

私たちは、人と動物が共に生活することで起こる社会的課題の解決を通じて  
誰もが他者を思いやることの出来る社会に貢献します  
人と動物の共生センター

# 今日のまとめ

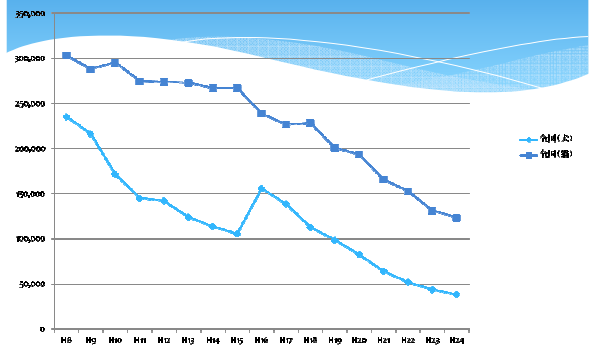
私たちは、人と動物が共に生活することで起こる社会的課題の解決を通じて  
誰もが他者を思いやることの出来る社会に貢献します  
人と動物の共生センター



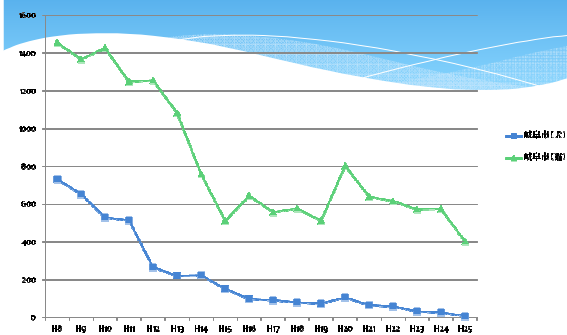
# 岐阜市の動物愛護

岐阜市保健所生活衛生課 片桐重幸

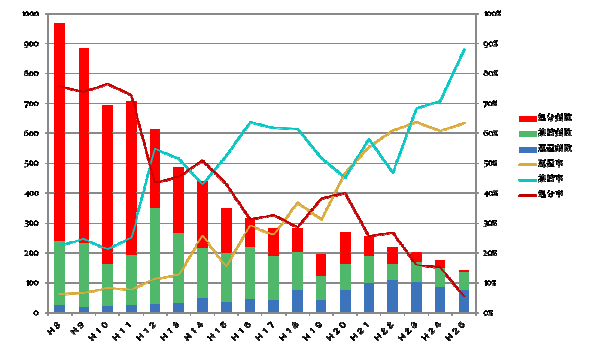
### 犬及び猫の処分数(全市)



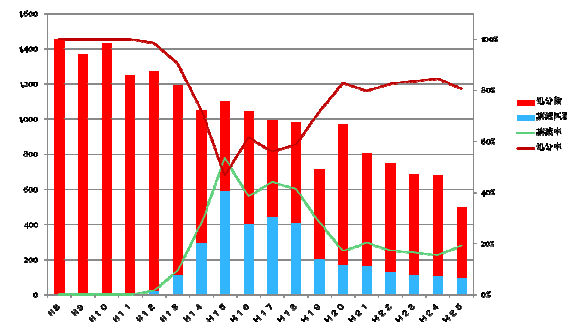
### 犬及び猫の処分数(岐阜市)



### 犬の収容及び処分状況



### 猫の収容及び処分状況について



### 苦情相談現地調査件数

年度	H21	H22	H23	H24	H25
犬	74	48	60	44	42
猫	28	59	42	16	47
その他	2	1	0	0	1
計	104	102	102	62	90

注: 電話・窓口での相談のみは含まず

### 主な相談内容

種別	順位	H21	H22	H23	H24	H25
犬	1			鳴声		
	2			放飼		
	3			糞尿		
猫	1			飼い主不明な猫(野良猫)		
	2			糞尿		
	3			放飼		放飼

## 岐阜市の主な取組み

- 愛犬のしつけ方教室(愛犬さがしの会)
- 犬及び猫の一時預かり依頼事業
- 飼い主不明な猫不妊手術補助金交付事業
- 犬猫啓発看板配布事業
- 猫侵入防止装置貸出事業
- 犬の飼育実態戸別調査

【岐阜市の人と動物の共生を考えるタウンミーティング】

人と動物の共生、人と動物の未来に興味がある、自分が住んでいる岐阜市でどんな人たちが活躍しているのか知りたい、自分にできることで応援したい、市民の一人として取り組みたい。そんな思いを持つ方にご参加いただきたい会です。

# 岐阜市における、人と犬猫との共生 これまでと、これからと、

【保護と野良猫編】

10/18  
(Sat)  
13:00~15:00



岐阜市はこれまでも殺処分率の低い自治体として、各報道機関等で紹介されてきましたが、その背景には、保健所職員達、そしてボランティア活動者の不断の努力があったことは、知られていないかもしれません。本企画では、最前線の現場で活躍する保健所職員、ボランティア活動のリーダー、自走型保護猫カフェの経営者を交え、今の岐阜市の人と犬猫の共生の取り組み、そして、これからの岐阜市における人と犬猫の共生について考えます。

【パネリスト】 Happy Choice 代表 田口 尚也 氏 / ワンズライフ トリマー 後藤 理香子 氏  
Neco Republic 代表 河瀬 麻花 氏 / 一般社団法人 DO IT YOURSELF 東 善朗 氏  
岐阜市保健所 副主幹 片桐 重幸 氏

【コーディネーター】 人と動物の共生センター 理事長 奥田 順之

当日の様様を生中継！

USTREAM <http://www.ustream.tv/channel/h-a-s-c>

【タウンミーティング詳細】

日時：2014年10月18日（土）13:00～15:00

場所：ハートフルスクエアG クラフト室

料金：無料

定員：20名（先着順）

申込：以下の連絡先に、お名前、お電話番号、メールアドレスをご連絡ください。

FAX 058-214-3442 mail info@tomo-iki.jp

主催：NPO法人人と動物の共生センター 協力：Happy Choice ～犬と猫と人のために～ / 自走型保護猫カフェ Neco Republic / ワンズライフ / 一般社団法人 DO IT YOURSELF



## 【岐阜市の人と動物の共生を考えるタウンミーティング】

人と動物の共生、人と動物の未来に興味がある、自分が住んでいる岐阜市でどんな人たちが活躍しているのか知りたい、自分にできることで応援したい、市民の一人として取り組みたい。そんな思いを持つ方にご参加いただきたい会です。

# 動物を介したいのちの教育

今必要とされる、  
地域・家庭・学校の  
連携と実践

## 【子どもと教育編】

動物を介して、いのちとのつながりを感じ、身近ないのちを実感する。小中学校でのいじめや不登校が問題視され、子どもたちの生命尊重の心や自尊感情が乏しいと指摘される昨今。子どもたちの豊かな人間性は、「学校」だけではなく、「家庭」や「地域社会」を通じ育まれるべきとされています。その中で、動物と動物に関わる人々が持つ、いのちの教育への可能性はまだ未開拓の分野と言えるでしょう。動物を介したいのちを実感する教育の未来について考えます。

【パネリスト】 元岐阜市教育長 安藤 征治 氏 / 一宮AAEドッグスクラブ 檜垣 史 氏  
NPO法人 Meets Vision 松岡 慎也 氏 / 桜ヶ丘中学校 教諭 横山 真智子 氏  
岐阜善光寺 住職 松枝 秀晃 氏

【コーディネーター】 人と動物の共生センター 理事長 奥田 順之

12/14  
(Sun)  
13:30~16:00



You Tube 告知動画配信中

### 【タウンミーティング詳細】

日時：2014年12月14日（日）13:30～16:00

場所：岐阜市中央青少年会館

料金：無料

定員：60名（先着順）

※ 駐車場に限りがございます。

申込：以下の連絡先に、お名前、お電話番号、メールアドレスをご連絡ください。

FAX 058-214-3442 mail info@tomo-iki.jp

主催：NPO法人人と動物の共生センター

協力：NPO法人 Meets Vision / 一宮AAEドッグスクラブ / 岐阜善光寺

後援：岐阜市（申請中） / 岐阜市教育委員会

## 【岐阜市の人と動物の共生を考えるタウンミーティング】

人と動物の共生、人と動物の未来に興味がある、自分が住んでいる岐阜市でどんな人たちが活躍しているのを知りたい、自分にできることで応援したい、市民の一人として取り組みたい。そんな思いを持つ方にご参加いただきたい会です。

**C**orporate  
**S**ocial  
**R**esponsibility



## ペット産業の社会的責任を考える

CSR=企業の社会的責任とは、企業活動の中で生じる様々な社会的な影響に責任を持ち、あらゆるステークホルダー（利害関係者）からの要求に対して適切な意思決定をすることを指します。動物関連企業にとっての動物というステークホルダー。動物の生命に対する責任をどのように負っていくかについて、社会の中での動物と飼い主の暮らしに対する責任をどのように負っていくかについて、様々な先進的な取り組みから、これからの動物とペット産業のCSRについて考えます。

【パネリスト】 (一社) ペットパーク流通協会 専務理事 大川 順士 氏  
サンメッセ株式会社 IR/CSR 企画推進室長 田中 信康 氏  
千村どうぶつ病院 院長 千村 収一 氏  
(一社)SR連携プラットフォーム 専務理事 森 健輔 氏  
【コーディネーター】 NPO法人人と動物の共生センター 理事長 奥田 順之



YouTube 告知動画配信中

### 【タウンミーティング詳細】

日時：2015年2月11日（水・祝）13:30～16:00

場所：ハートフルスクエアG

岐阜市橋本町1丁目10番地23

料金：無料

定員：50名（先着順）

申込：以下の連絡先に、お名前、お電話番号、メールアドレスをご連絡ください。

TEL 058-337-5234 FAX 058-214-3442

mail info@tomo-iki.jp

## 【岐阜市の人と動物の共生を考えるタウンミーティング】

人と動物の共生、人と動物の未来に興味がある、自分が住んでいる岐阜市でどんな人たちが活躍しているのか知りたい、自分にできることで応援したい、市民の一人として取り組みたい。そんな思いを持つ方にご参加いただきたい会です。

【全員参加型ワークショップで私たちの提言をまとめよう！】

# みんなで考える 人と動物の共生の未来

3/22  
(Sun)

これまで実施してきた、3回のタウンミーティングで蓄積された知見、参加者それぞれの思いやアイデアを出し合い、人と動物の共生の社会創りに活かしていくために提言としてまとめます。人と動物の共生に関わる、企業・NPO・ボランティア団体・地域組織・教育機関、地方自治体、すべてのステークホルダーへの提言としてまとめていきたいと考えています。みんなで、私たちが明日できる一歩を考えます。

◎当日及び後日の実施内容

- ① 全員参加型ワークショップ 参加者が意見を持ち寄り、チームに分かれ提言内容をまとめていきます。
- ② 各チームごとの提言の発表 各チームごとに提言を発表し合い、互いの意見に耳を傾けます。
- ③ 全体の提言の発表 後日、集計した提言をまとめ、各機関への発表を行います。

【コーディネーター】 NPO法人人と動物の共生センター 理事長 奥田 順之

【タウンミーティング・ワークショップ詳細】

日時：2015年3月22日（日）13:30～16:00

場所：ハートフルスクエアG 研修室30

岐阜市橋本町1丁目10番地23

料金：無料

定員：50名（先着順）

申込：以下の連絡先に、お名前、お電話番号、メールアドレスをご連絡ください。

TEL 058-337-5234 FAX 058-214-3442

mail info@tomo-iki.jp

主催：NPO法人人と動物の共生センター 後援：岐阜市／岐阜市教育委員会

# 岐阜市の人と動物の共生を考える タウンミーティング

## 【開催概要】

岐阜市の人と動物の共生を考えるタウンミーティングは、様々な分野から人と動物の共生、そして身近な異種の生命との関わりについて、これまでの事例を学ぶとともに、これからの岐阜市の人と動物の共生の未来について考える会です。

人と動物がより良い共生ができる街に、そして、身近ないのちを尊重できる街を目指すならば、一部の市民、ボランティア、行政だけが頑張ればいい、と言うわけではないでしょう。企業、NPO、ボランティア団体、地域組織、教育機関、地方自治体など、様々な主体が連携し合うことで、実効性のある取り組みを推進していきけるのではないのでしょうか。

本タウンミーティングでは、4回の開催を通じて、各ステークホルダーと共に議論を深め、提言の発表を目指していきます。

## 【ミーティングの進め方】

### ● 前半パネルディスカッション

各テーマに即したパネラーを招聘し、先行事例の紹介と今後のあるべき取り組みについて意見交換を行います。

### ● グループワーク

参加者は後半で行われるワークショップにおいて参加型で議論を深めていきます。

### ● まとめと報告

ミーティングで出た意見は、事務局が集約し、レポートにまとめていきます。

## 【主催者紹介】

### NPO法人人と動物の共生センター

人と動物が共に生活することで起こる社会的課題の解決を通じて誰もが他者を思いやることの出来る社会に貢献することを理念に、適正飼育の普及、保護活動の支援、政策提言等を行っている。

## 【保護と野良猫編】 10月18日（土） 13:00～15:00

@ハートフルスクエアG

殺処分、飼育放棄、野良猫…人と動物の共生の課題として、これまでも多くのボランティア、行政職員が保護そして野良猫の問題に挑んできました。そうした活動の広がりから、犬においては殺処分ゼロの自治体が見られるようになってきており、岐阜市においても保護の転換点を迎えようとしています。そして、野良猫と地域が今後どうかかわっていくのか、動物に関わる公共はどのように担われていくべきなのか、公助・共助・自助の観点から考えます。

## 【子どもと教育編】 12月14日（日） 13:30～16:00

@岐阜市中央青少年会館

動物を介して、いのちとのつながりを感じ、身近ないのちを実感する。小中学校でのいじめや不登校が問題視され、子どもたちの生命尊重の心や自尊感情が乏しいと指摘される昨今。子どもたちの豊かな人間性は、「学校」だけではなく、「家庭」や「地域社会」を通じ育まれるべきとされています。その中で、動物と動物に関わる人々が持つ、いのちの教育への可能性はまだ未開拓の分野と言えるでしょう。動物を介したいのちを実感する教育の未来について考えます。

## 【企業とCSR編】 2月11日（水・祝） 13:30～16:00

@ハートフルスクエアG

CSR＝企業の社会的責任とは、企業活動の中で生じる様々な社会的な影響に責任を持ち、あらゆるステークホルダー（利害関係者）からの要求に対して適切な意思決定をすることを指します。動物関連企業にとっての動物というステークホルダー。動物の生命に対する責任をどのように負っていくかについて、社会の中での動物と飼い主の暮らしに対する責任をどのように負っていくかについて、様々な先進的な取り組みから、これからの動物とCSRについて考えます。

## 【まとめと提言編】 3月22日（日） 13:30～16:00

@ハートフルスクエアG

3回のタウンミーティングを経て蓄積された知見を、岐阜市における人と動物の共生に、ひいては全国の人と動物の共生の社会創りに活かしていくために提言としてまとめ、各回に参加したパネラーや協力団体と共に発表します。人と動物の共生に関わる、企業、NPO、ボランティア団体、地域組織、教育機関、地方自治体、すべてのステークホルダーへの提言としていきたいと考えています。身近ないのちとの関わりを通して、私たち人間が明日できる一歩を考えます。